

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp
Eメール info@jaichi.jp

TEL(052)916-2251
FAX(052)916-2308

2016. 11. 10
No.1146

発行責任者 林 達也 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

第7回あいち自治体にはたらく
非正規職員のつどい

とき 12月10日(土) 13時30分
ところ 名古屋・金山/労働会館本館

国と地方の格差は許さない



写真上は、団体交渉で人員要求など職場環境の改善を求める豊橋市職労。写真右は、11.2全県労働者決起集会後のデモ行進。



東郷町と懇談する要請団

統一要求を2・7ヶ月とし、各単組はアンケートをもとに(瀬戸2・51ヶ月、春日井2・7ヶ月、長久手3ヶ月、中水労2・6ヶ月+5万円、春日井給食会3ヶ月)要求し、11月15日を回答指定日としています。

11月1日、尾張ブロック尾東地区協議会として2016年末一時金等要請行動を実施しました。早朝宣伝を尾張旭市や東郷町で実施してから、各自治体へ要請を行いました。
東郷町では、人事課長らが対応。「臨時職員の時給が対応。」

年末一時金等を自治体に要請 尾張ブロック尾東地区協議会

単価、事務職で890円を920円に改善し、人材確保につなげてきた。今年は人件費予算1・5%シリングの見直しがある。尾張旭市では、「職員にとって、風通しのよい職場をつくることは大切であり、仕事に余裕やゆとりを持ってほしい」といけぬなど意見交換しました。

秋闘本番

団結強め要求前進を

すべての労働者の大幅な賃上げや一時金獲得、労働法制改悪阻止など諸要求実現を求めて公務民間労働者が11月2日、名古屋・栄ひるばに400人が集結。
自治労連愛知県本部・林書記長が情勢報告し、「公

善につなげるかが今年の確定交渉のポイント。各単組の実情に合わせて当局に迫ることが必要です。①給料表の改定上積み(初任給引き上げや昇給・昇格基準の改定)、②地域手当の引き上げ(国基準突破、セロ地域をなくす)、③扶養手当見直しに伴い、経過措置の延長、④通勤手当の引き上げ、⑤特殊勤務手当の改悪阻止や年末年始手当の拡充⑥一時金役職加算の改善。

16 秋季年末確定闘争は、要求に対する回答をうけた交渉が始まっています。自治体・公務公共職場に働くすべての労働者の3年連続賃上げや人員増等、職場環境改善を勝ち取る奮闘が集会や地域行動などで本格化しています。

交渉のポイント

当局回答の多くは「人事院勧告に準拠」などとしていますが、国の給料表をそのまま適用しても0・17%の708円の官民較差を解消したことはなりません。



子どもたちによりよい保育を！ 11.3大集会

広げよう！保育署名
県宛 11/18×切
国宛 12/26×切

府・自治体が待機児解消・保育士処遇改善に向けて動かざるをえない状況を作り出してきました。しかし、その対策は、全く不十分です。全保連の実方伸子さんは「大切なことは、私たち当事者が、主権者として声を上げ、幅広い関係者や自治体と一緒に運動を広げることです」と訴えます。参加者は「保育所をもっと！」「保育士をもっと！」と、歌とコールで銀座の街を練り歩きました。

子どもたちによりよい保育を！ 11.3大集会が東京・日比谷野外音楽堂で開催されました。全国から集まった保護者、保育士など3500人が、保育の拡充を求めて声を上げました。



65人が参加して、10.29ドクターナース介護ウェーブ。自治労連医療部会は豊橋市民、豊川市民、名古屋市民から参加しました。

「言いたい劇場」

小菅りや子



セット共済 安くて
自治労連 掛金 1820円/月 → 病欠入院 5000円/1日

介護・福祉・医療など社会保障の施策充実を求める「愛知自治体キャラバン」



「希望者には介護認定を」と要望／清須市

2016年10月25日～28日

国保料引下げ、安心の介護保障を

介護・福祉・医療など社会保障の施策充実を求め毎年実施している「愛知自治体キャラバン」(愛知社会協や愛労連、自治労連などで実行委員会)が10月25日から28日にかけて行われました。介護保険料の引き下げ・基盤整備、国保料の引き下げ・減免、子ども医療費の18歳までの無料化、就

学援助制度の改善などを重点課題に、各自治体を訪問し意見が交わされました。清須市では、介護保険のチェックリストについて「振り分けをせず、希望者には介護認定を」との要望に対し、「介護認定が出るまでの間のサービス利用のためにチェックリストを使っていく」と回答。北名古

屋市では、子ども医療費について「ほとんどの自治体の中卒まで無料化しているなか、小学生以上の1割負担を一刻も早く無料にしてほしい。北名古屋に住むお母さんたちは悲しい思いをしている」と訴えました。これに対し「市長の考えであり、変えられない」との回答がありました。

誰もが大事な一人の人間、ハラスメントのない職場に

10月27日 自治体職員的安全衛生研修会

職場内の「観衆・傍観者」の「潮目」を変えること

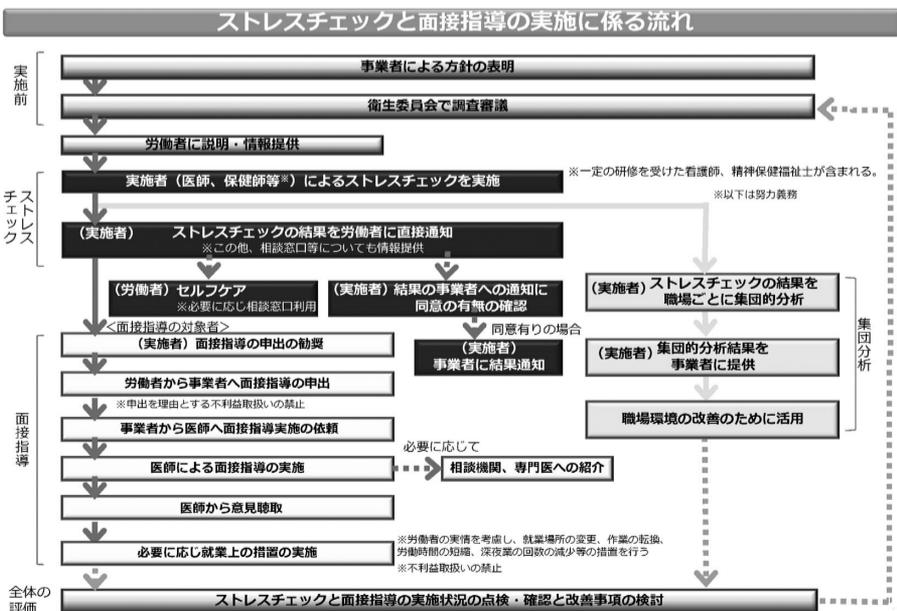
10月27日、自治労連愛知県本部主催の「2016年度自治体に働く職員の安全衛生研修会」に、自治体研修や職免などで11自治体・単組81人が参加しました。第1講義を名古屋南部分法律事務所田巻紘子弁護士が「ハラスメントをなく

し、働きやすい職場をどう作るか」と題して講演。ハラスメントの定義を「べからず集」として受け止める職場が窮屈になってしまふことが紹介されました。また、いじめを四重構造「被害者―加害者―観衆―傍観者」として捉え、職場内環境「観衆・傍観者」の「潮目」を変え、復職しやすい環境を整えるために

も労働組合の存在意義や役割があることが強調されました。

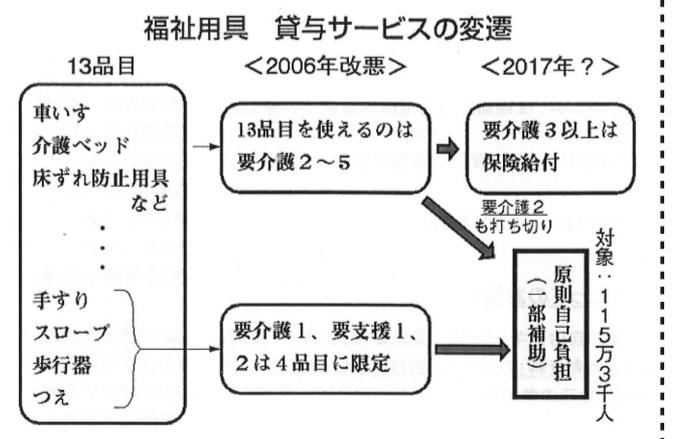
職場環境の改善につながるストレスチェック

第2講義は、全労働中央執行委員の山脇薫氏が「ストレスチェックを有効なもの」と題して講演。労働組合として人事当局との協議を行うことで、職員への不利益防止の徹底やプライバシー保護などが守られることにつながる指摘しました。参加者からは、「これまで漠然と捉えていた」「個々の面接指導や職場ごとの集団分析が大切」などの理解が深まる研修会となりました。



要介護1・2 保険給付外し見送りへ 9月愛知県議会で意見書採択

9月愛知県議会で、厚生労働省の次期介護保険制度改正による、軽度者(要介護者1・2)が利用する福祉用具の自己負担化に反対の意見書が採択された。給付見直しにふれて、「自己負担化となれば、高齢者等の経済的負担を増大させるだけでなく、必要なサービスの利用が抑制され、重度化が進展することによって、介護保険給付費が増大することが懸念される」と指摘している。こうした世論に押され、10月12日厚生労働省は来年提出の介護保険法改正案に盛り込まない考え方を示した。きっぱり断念させる運動がさらに必要である。



- 単組定期大会 役員紹介** (11月5日)
- 執行委員長 小川 薫
 - 副委員長 鈴木 常浩
 - 書記 中村 泰久
 - 副書記 中村 泰久
- あいち自治体一般労組 (11月9日)
- 執行委員長 上四元直樹
 - 副委員長 戸田くみ子
 - 書記 和久井一義
 - 副書記 進藤 友之
 - 書記 大塚 秀夫
 - 書記 秋田 篤也



仲間の声

●スポーツの秋とともに食欲の秋、このごろは句がなくなってきたが、大いに秋を楽しみましょう。(天野 栄・名古屋市長)

●先日、初めて当選しました! ありがとうございませう。当たった図書券で「心くぼりの魔法」という本を買いました。読書の秋、たくさん本読むぞ。(伊藤千晶・豊橋市職労)

●大きな地震が各地で発生しており、東海地方にも来るのではないかと心配です。(村川幸正・春日井市職労)

●「あいちの仲間」を読んで賃金・人員闘争などよくわかり、組織で取り組んでいくことが大切だと。(渡辺めぐみ・豊川市職労)

●10月となり過ぎしやすい季節となりました。行楽・各種イベントに参加するのが楽しみです。(松井芳巳・西尾市職)